

# 林兼産業株式会社

## 2016年3月期第2四半期 決算説明資料

---

2015年11月13日

# 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

	2015年3月期 第2四半期累計	2016年3月期 第2四半期累計			
		実績	前年増減	当初計画	計画増減
売上高	22,943	23,714	770	23,600	114
営業利益	▲109	586	696	130	456
経常利益	▲133	556	690	80	476
親会社株主に帰属する四 半期純利益	▲129	309	438	50	259

## 前期との主な変動要因

- 売上高 魚肉ねり製品の販売数量増加により増収  
食肉加工品の販売数量増加により増収
- 営業利益 売上高の増加により増益  
原材料価格の高騰に対応した価格改定により増益  
コスト削減により増益

# セグメント別の売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2015年3月期 第2四半期累計	2016年3月期 第2四半期累計			
		実績	前年増減	当初計画	計画増減
<b>売上高</b>	22,943	23,714	770	23,600	114
水産食品事業	1,744	1,995	250	2,000	▲5
畜産食品事業	9,494	10,037	542	9,700	337
飼料事業	10,522	10,555	32	10,900	▲345
その他の事業	1,181	1,126	▲55	1,000	126
<b>営業利益</b>	▲109	586	696	130	456
水産食品事業	▲38	▲36	2	16	▲52
畜産食品事業	▲56	254	310	163	91
飼料事業	424	733	308	412	321
その他の事業	102	143	41	69	74
消去又は全社	▲541	▲507	34	▲530	23

# 貸借対照表の概要

(単位:百万円)

	2015年3月期末	2016年3月期 第2四半期末	
			増減
流動資産	11,939	13,498	1,559
固定資産	15,082	16,135	1,052
資産合計	27,022	29,633	2,611
流動負債	15,072	16,509	1,436
固定負債	6,923	7,699	775
負債合計	21,996	24,208	2,212
純資産合計	5,026	5,425	399
負債純資産合計	27,022	29,633	2,611

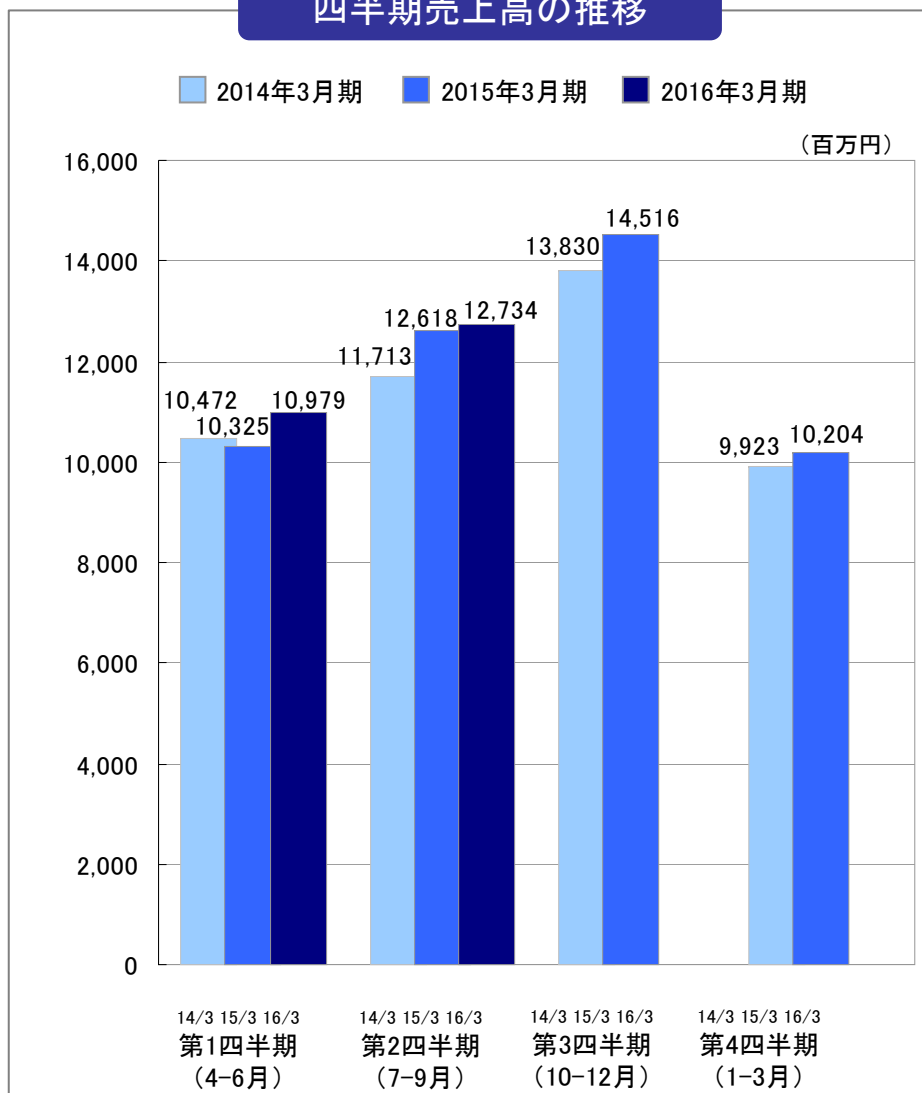
# キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

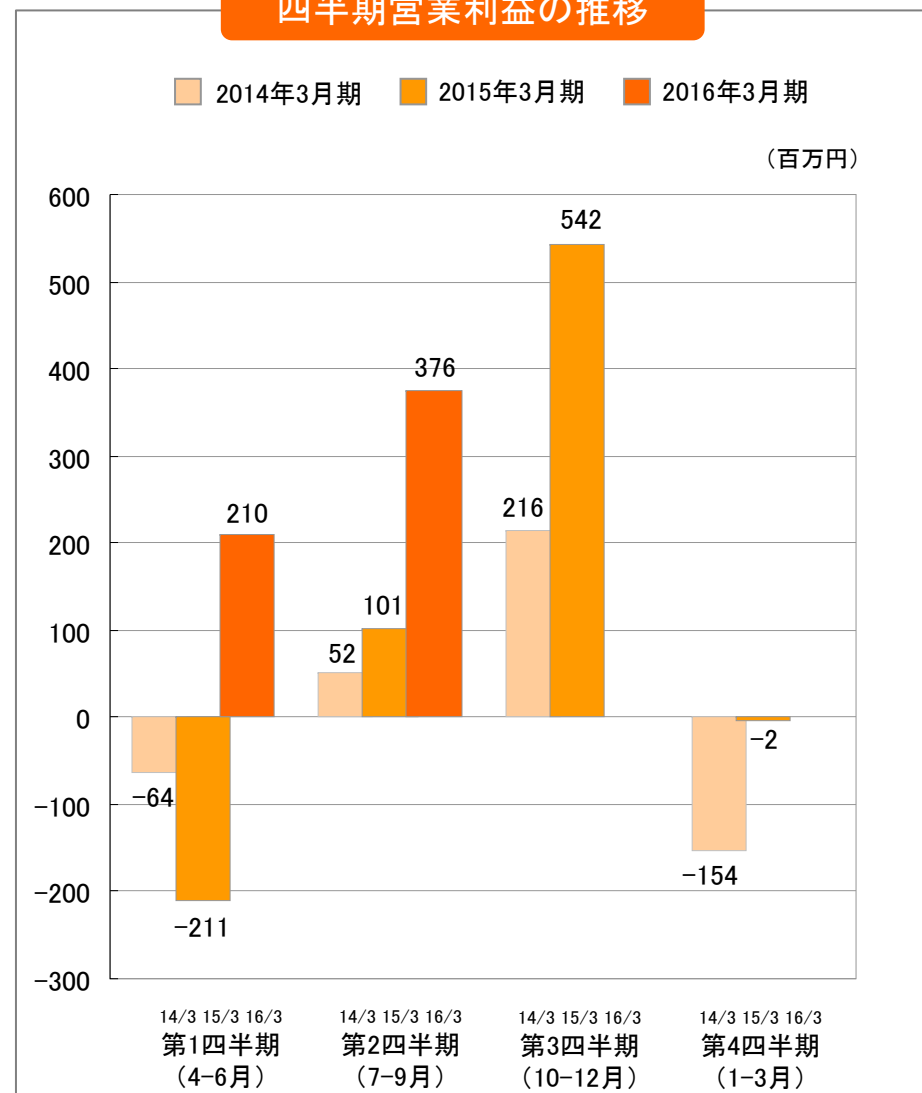
	2015年3月期 第2四半期累計	2016年3月期 第2四半期累計	
			前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲364	▲452	▲88
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲308	▲308	▲0
フリー・キャッシュ・フロー	▲672	▲761	▲89
財務活動によるキャッシュ・フロー	726	938	211
現金及び現金同等物の増減額	53	175	122
現金及び現金同等物の期首残高	1,834	1,397	▲436
現金及び現金同等物の期末残高	1,887	1,573	▲313

# 業績の推移（売上高・営業利益）

## 四半期売上高の推移



## 四半期営業利益の推移

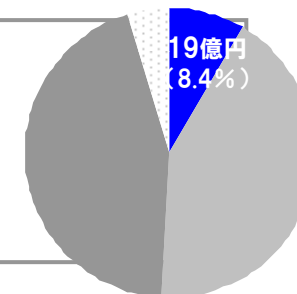


概況：魚肉ねり製品の販売数量増加により増収

## 水産食品事業

売上高 **19億95百万円**（前期比 14.4%増）

営業利益 **▲36百万円**（前期より2百万円改善）



## 2016年3月期 第2四半期の状況

### 水産食品

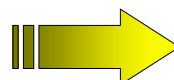
- ・ 魚肉ねり製品の主力取引先への販売数量増加により増収
- ・ 中国・香港への輸出量増加により増収

### 機能性食品

- ・ エラスチン関連商品の販売が順調に推移
- ・ 高齢者向けソフト食「ソフミート」の売上増加
- ・ 和菓子の売上増加

## 水産食品事業

今期の行動目標



実行状況および今後の取り組み

### ■ 魚肉ねり製品の販売拡大

- ・国内販売の安定化と海外販路の拡大(中国・台湾)
- ・新規マーケットの開拓
- ・最適生産性構築の推進

- ・主力OEM先との取組強化
- ・海外取引先へのアプローチ強化(中国・台湾・香港)
- ・機能性強化、長期保存ソーセージの開発
- ・ポルプ活動の推進

### ■ 機能性食品の拡大

- ・価格競争に巻き込まれない、徹底された差別化商品の開発と販売
- ・エラスチン:新エビデンス「バスト下垂抑制」を付加した商品提案を実施
- ・介護食:大阪地区への拠点設置。より顧客に添った提案を行える環境を整備し、近畿、東海、北陸の営業強化を推進

- ・エラスチン:
  - (国内)機能性表示食品への対応
  - (中国)日本版特保商品への配合の早期実現
- ・ソフミート:機能性のアップおよび成形品の開発、販売
- ・和菓子:行事に応じた「ハレの日」企画を訴求できる商品の開発と企画提案を実施

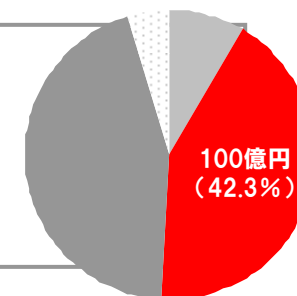


概況：食肉加工品の販売数量増加および昨年実施の価格改定により増収増益

## 畜産食品事業

売上高 100億37百万円（前期比 5.7%増）

営業利益 2億54百万円（前期より310百万円改善）



## 2016年3月期 第2四半期の状況

### 食肉加工品

- ・ 食肉加工品の販売数量増加により増収
- ・ 昨年実施の価格改定の効果により増益

### 食肉

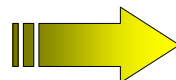
- ・ 豚肉の販売数量が減少したものの、鶏肉の売上増加により増収
- ・ 利益率の高い商品の販売に努めたことにより増益

### 調理食品

- ・ 高付加価値商品の販売に注力し増収増益

## 畜産食品事業

今期の行動目標



実行状況および今後の取り組み

### ■OEM受託数量の拡大

- ・OEM先との連携強化
- ・都城工場食肉惣菜棟の生産設備増強による生産数量増

- ・下関第二工場量販品対応に向けての設備増強
- ・生産工程、歩留改善による収支改善
- ・新規取引先の開拓

### ■スターゼングループとの連携強化

- ・工場製造受託数量増加
- ・霧島黒豚取り扱い頭数増加
- ・人事交流による関係強化

- ・販売拠点、販売チャネルの相互利用による売上増
- ・スターゼングループの牛肉取り扱い開始
- ・新規アイテムの共同開発
- ・生産数量増に向けた取り組み

### ■霧島黒豚の販売強化

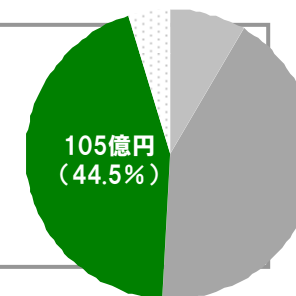
- ・広域量販店、全国コンビニ向け黒豚PB商品の展開
- ・外食銘店監修霧島黒豚ギフトの開発
- ・大手流通企業の黒豚ギフト取り扱いアイテム増加

- ・大手流通企業と連携強化し、PB商品・PBギフトの新規共同開発
- ・既存取引先への店内シェアアップと新規開拓

概況：養魚用飼料の価格改定および固定費の削減により増収増益

## 飼料事業

売上高	105億55百万円	（前期比 0.3%増）
営業利益	7億33百万円	（前期比 72.6%増）



## 2016年3月期 第2四半期の状況

### 養魚用飼料

- ・ 輸出版売数量増加により増収
- ・ 養魚用飼料の価格改定により増収
- ・ 固定費の削減により増益

### 水産物

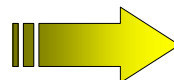
- ・ 活魚（ハマチ・カンパチ）の取扱量減少などにより減収
- ・ 鰻相場堅調により増益

### 畜産用飼料

- ・ 採卵鶏用飼料の販売数量減少により減収

## 飼料事業

今期の行動目標



実行状況および今後の取り組み

### ■ 養魚用飼料の販売数量拡大

- ・海外への販売数量拡大
- ・大手養殖生産企業への営業強化
- ・オンリーワン技術飼料の開発  
新時代飼料を開発・発売  
マグロの稚魚から成魚までを配合飼料だけで養殖  
できる技術を開発

- ・提案型営業と技術力によりシェア拡大
- ・魚粉非依存型飼料の拡販
- ・ツナフードの販売シェア拡大
- ・海外展開強化（オーストラリア他）  
輸出の増加  
機能性飼料の開発

### ■ 水産物の収支改善

- ・平安海産の生産性向上の取り組み
- ・養殖委託提携先の飼育成績向上の取り組み

- ・平安海産の加工度UPによる採算性向上
- ・養殖委託提携先の飼育成績向上による  
収支改善

(単位:百万円)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 当初計画 (変更なし)
売上高	47,664	49,200
営業利益	430	550
経常利益	448	450
親会社株主に帰属する当期純利益	383	300

## 2016年3月期 通期の見通し

第2四半期連結累計期間の業績は損益面において当初予想を上回ったものの、原材料価格動向等の先行きが不透明であることから、当初計画に変更はありません。

 林兼産業株式会社

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先

林兼産業株式会社 管理本部総務部

TEL 083-266-0210

IRサイト <http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html>